

件 名	令和5年度第2回春光台公園運営協議会		
日 時	令和5年10月17日（火） 18：00～19：30	場 所	春光台公民館 1階講座室
出席者	【参加者】8名 古崎睦，高橋良典，中村洋一，小原陽一，横山孝，上森茂， 宮本千穂，福屋聖恵 【事務局】6名 公園みどり課 星課長，酒井主幹，藤田補佐，白瀬係長， 吉田主査，関		
欠席者	【参加者】1名 上山政男		
資 料	・議事次第 ・資料1「新道から春光台公園へのルートについて」 ・資料2「春光台公園の遊具改修について」		
<p>《概要》</p> <p>次第1 開会 「開会」 （進行：事務局）</p> <p>本日はお忙しい中、春光台公園運営協議会にご出席いただきましてありがとうございます。 それではこれから協議会を始めさせていただきます。 本協議会開催に際しまして、公園みどり課長の星よりご挨拶申し上げます。</p> <p>次第2 挨拶 「課長挨拶」 （課長挨拶）</p> <p>みなさん、こんにちは。公園みどり課の星です。 本日はお忙しい中、本協議会にご出席いただきましてありがとうございます。 前回8月の協議会は、気温も高い、暑い中での開催でしたが、それから2か月が経ち、最近ではすっかり肌寒い気候となりました。 前回は主に春光台公園の概要についてと、宝くじ遊具の後継となる、遊具改修についてをテーマに意見交換を行ったところです。 本日の協議会では、前回に引き続き、遊具改修について、複数の設計案を作成したので、その内容を説明し、意見をいただきたいと考えています。 また、前回、新道から公園への入口について、話題となりましたが、今回、その部分について、現地調査を行いましたので、改めて説明を行いたいと考えております。 協議会は1時半程度を予定しております。限られた時間となりますが、皆様には活発な意見交換をお願いできればと思います。 本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>（資料説明：事務局）</p> <p>本日使用する資料につきましては、事前に皆様にお送りしております。資料の確認ですが、本日の次第、参加者名簿，説明資料として，資料1「新道から春光台公園へのルートについて」，資料2「春光台公園の遊具改修について」，以上の資料をお配りしておりますが、皆様お手元にありますでしょうか。</p> <p>次第3 出席者紹介 「出席者紹介」 （出席者紹介：事務局） 出席者8名を紹介</p>			

次第4 第1回会議の質問・意見への報告

(議事引継：事務局)

それでは、議事に入るわけですが、ここからは、本協議会の進行役であるC様をお願いしたいと思います。

ここからの進行をC様、よろしくお願いします。

(進行：C)

それでは、次第に従いまして進めて参ります。

次第4、第1回会議の質問・意見への報告について、事務局から説明願います。

(説明：事務局)

それでは、まず前回の意見・質問に関する回答をいたします。

まず、前回、春光台公園の概要説明の際に資料に園内のミズバショウが4万5千株生育していると、説明した際に、数が違うのではないかという御指摘をいただいたところですが、令和4年4月24日に春光台公園ミズバショウ保全・復元検討会が全数調査を行ったところ、10,678株であったことを確認いたしました。

また、過去16年にわたって、調査した結果といたしましては、おおよそ1万株前後のミズバショウが春光台公園内で生育している状況です。

訂正してお詫び申し上げます。

続きまして、新道から渡るルートに関する説明を行います。

(説明：事務局)

それでは、資料1を御覧ください。(事務局より資料1に基づき説明)

(進行：C)

今、事務局から前回の意見・質問に対する回答と説明がありました。

まずミズバショウの数量については、誤謬があったとのことで訂正がありました。

新道から公園へのルートについては、等間隔でルートが確保されているとの説明がありました。

また、自然保全エリア中央部からの新道に続く園路については、整備に相当の時間と費用が必要であるということが分かったかと思われます。

それでは、ここまでの事務局の説明について、皆さんから意見はありますか。

(参加者：E)

今、説明のあった坂の場所(資料1-10~12ページ)は、整備や手入れがされていないので、荒れた状態であるという説明ではあったのですが、実際は幅の広い、緩やかな坂で、これを例えば、草刈等で整備すると、市民がペットを連れらり、子どもを連れて緩やかな坂道を上っていくことができる非常に有用な坂になるのではないかと思います。

今、昭和37年の航空写真(資料1-10ページ)で、確認できるとのことだったが、実際は大正時代、もしくは明治時代からあった坂です。

これが整備されるとどんなイメージになるかというのを写真で説明しようと思います。

(発言者：写真を配布)

この写真は、4、5年前に撮影したものです。公園みどり課の方は一時的に草刈り、樹木の切り払いをしていただいた様子ですが、非常になだらかな、幅の広い坂です。

行ってみると、公園みどり課さんが説明したように、雨で濡れていたりするところもありますが、整備することで、春光地区や春光台地区の方々が上っていける坂になるのではないかと考えています。

また先ほど説明のあったスロープや階段(資料1-4~5ページ)のところから擁壁(資料1-6ページ)の上の歩道に出られるので、そこから坂の入口まで行くことができます。

その擁壁の上の歩道を綺麗にして歩けるようにしていただけると坂の入口まで簡単に行ける状態になるので、ぜひ時間がかかっても整備していただけたらと思っています。

(進行：C)

はい、Eさん御意見ありがとうございました。これはちなみに何年頃の写真ですか。

(参加者：E)

平成29年頃のものです。

(進行：C)

これは、市の資料(資料1-12ページ)と比較するものではないと。

(参加者：D)

今回は、春光台公園の遊具改修の件について話し合いたいということで、そのことについて話し合うべきだと思う。

(進行：C)

その件については、次第2で話し合います。

(参加者：D)

今の話は議事とは、関係ない話だと思います。また、この件を詳しくやると時間が足りないと思う。

(進行：C)

遊具の件について話し合う時間は確保します。今は、前回の話の積み残しの件についての議題になります。

(参加者：D)

前回の積み残しと言うことであれば、前回は春光地区の方が、新道の横断歩道を渡って、上るところが無いという意見が出た。

それがありますよという、それだけの話ですよね。で、実際に今、みどり課の方が確認したら、上る道があったということですよ。

(進行：C)

市の説明では、新道の信号機のところから、直接公園に上る道は無かったということを確認したということですね。

(回答：事務局)

そうです。

(進行：C)

今、Eさんはそれとは別に違うルートで、こういう道がありますよという御意見ですね。ただ道(資料1-10ページ)はあるけど、人が歩ける状況にないということです。

(参加者：D)

ようするに、春光町から春光台公園に上る道が無いということを前回意見がありましたので、わたしはありますよと言ったら、みどり課の方で把握してなかったということで、確認したら、道があったということなので、この件については、これ以上の時間をとる必要が無いと思う。

(進行：C)

新道から、春光台公園へのルートがあったという確認とは別に、Eさんの整備されていない道を整備して欲しいという御意見については、ここでその是非を問うことはしませんが、貴重な意見として承るということです。

(参加者：D)

今は、会議を長引かせないため、まず遊具に関する意見交換を終わらせてから行うべきで、まずは、遊具改修の件についての意見交換を行うべきだと思う。

(進行：C)

次の議題で、もちろん遊具の件について意見交換を行いますが、まずは1回目の積み残しを皆さんに説明してから、次に進みたいと思います。

他に何か御意見はありますか。今日のEさんの御意見は御意見として記録をお願いします。

(説明：事務局)

今、前回からの積み残しということで、説明をさせていただきました。

その説明に関連する事項として、前回もありましたが、E様から改めて意見をいただいたところですよ。

本会は色々な意見をいただく場でもありますので、D様がおっしゃることももちろんですが、時間に配慮しながら意見交換を進めていきたいと考えております。

(参加者：D)

会議の進め方として遊具の話から先にしたほうがよい。崖崩れから話をしてそちらに時間を使うと、メインの遊具の話が確保できなくなる。

(説明：事務局)

今は、E様の御意見は御意見として承った状態なので、また別の議題に移ることでよろしいでしょうか。

次第5 議題：(1) 公園内遊具の改修について

(進行：C)

では、本日の議題「公園内遊具の改修について」、事務局から説明願います。

(説明：事務局)

それでは、資料2を御覧ください。(事務局より資料2に基づき説明)

(進行：C)

説明ありがとうございます。前回の協議会では、ドキドキ・わくわくするというコンセプトを大切にしながら、安全性を確保した上で、個性的な遊具ができるといいねという、意見だったと思います。

それでは、事務局の説明を聞いた上で、皆さんから御意見を伺いたいと思いますが、その前にスケジュール(資料2-15ページ)の確認をしたいと思います。

本日の協議会で、何かを決めるということではありませんが、提示された1～3の案について、改善の希望があれば、意見を出していただき、スケジュールにあるように小学校や幼稚園の子ども達のアンケートをとり、その結果を含めて、もう一度意見の調整をして、緑の審議会で審議決定をするという、それに向けての意見を皆様の立場からいただきたいという主旨ですので、意見をいただきたいと思います。

それではDさんから意見を伺いたいと思います。

(参加者：D)

各案の費用はどうなっているのですか。

(回答：事務局)

1億1千万～2千万ほどになります。

(参加者：D)

予算はついているのですか。それともこれからつくのですか。

(回答：事務局)

これからになります。

(参加者：D)

予算がつく見込はあるのですか。

(回答：事務局)

1～3案で整備する前提で話をしておりますので、予算については確保していきたいと考えております。

(参加者：D)

何年計画ですか。1年で整備するののか。

(回答：事務局)

遊具自体は1年で整備したいと考えております。自由広場(資料2-12～14ページ)と遊具を同時期にできるかは難しいですが、遊具で1年、自由広場で1年それぞれ整備にかかると考えております。

ただし予算の関係もありますので、1、2年で整備が完了するとは、申し上げられませんが、整備にはそれぞれ1年ずつかかる予定です。

(参加者：D)

配付された資料が白黒なのでわかりにくいですが、模型を作ったり、皆さんにもっとわかりやすい説明は考えているのでしょうか。

(回答：事務局)

模型を作るなどは考えていないですが、最終的には緑の審議会や市民の皆様からホームページで意見を確認しますので、そのような時には、カラーで掲載する予定です。

(参加者：F)

説明を聞いて、最初に思ったのが、暑い夏がきたら水場はどうなるかとか、雨の時はどうなるかなと、屋内施設ならいいのだが、外の遊具なのでそのへんはどうか。

(回答：事務局)

屋外遊具ということもありまして、雨が降っても屋内施設のように遊べるというものではありません。

(参加者：F)

更新するということで全天候型なのか気になったところです。

(参加者：A)

屋外遊具ということもありまして、管理の関係で、宝くじ遊具の木製部分が劣化してほとんどだめになって、使えない状況になっていて、今後のことを考えていく上では、木製遊具はちょっと最初の何年かはいいと思うんですけども、年数が経っていくと、色々ささくれだとか、公園の中を巡視していると、劣化が激しいので、できれば違う素材のものが長持ちすると思っています。

また、ネット関係についても、切れそうになっていたり、劣化が激しいので、その当たりを考慮した上で、整備を考えてほしいと思います。

(参加者：G)

本日の資料を事前にもらって、息子3人と見たんですけど、第1案(資料2-4～5ページ)遊具を見たときに「こんなの見たことない」と感激していました。

我が家は公園とかアスレチックマニアなんですけども、まずぱっと見たときに、「こんな遊具見たこと無い」、「おもしろそう」、「入ってみたい」、車から見たら、寄ってみたいという魅力がつまっていると感じました。

既存の宝くじ遊具から、規模は縮小されますが、インパクトがある、コンセプト的にも旭川にしっかり根を張るということで、マッチしているデザインかなとも思っておりますし、新たなシンボルとなると感じました。

3つともいいところがあるんですが、年齢的にも動物を見つけようというのは小さい赤ちゃんでも楽しめるような遊具だと思うし、年齢が高くなって小学校高学年になっても、正直第2(資料2-6～7ページ)、第3(資料2-8～9ページ)は小学6年生の子はときめいていなかったのですが、第1案は小学6年生の子でも「入ってみたい」、「中はどうなっているんだろう」、外側から見ただけではわからない好奇心をくすぐる遊具だなと感じました。

意見でもあったのですが、安全性という問題で、やはり木製というのは、耐久性に不安もあるし、ささくれだとかで色々あると思います。

仮に第1案で決定すると、1億1千万なので、第2案の1億2千万との差額が1千万あるので、そのような差額部分で、見た目は木製がいいと思うのですが、樹脂設計とのことなので、バージョンアップするなどの対応をしてもらいたい。

また、協議会の意見と春光台の学校・幼稚園へのアンケートだけではなくて、市民に対して投票してもらおうと、施設が決定するまでの過程に市民が参加できる、話題性にもなる、公園をみんなで作るみたいな感覚が旭川市民に生まれると、より公園に対する愛着も湧くし、盛り上がって面白いんじゃないかなというふうに思いました。

(参加者：E)

旭川は夏はすごく暑くなって、30度を超えるようになって、水場があるといいかなと、思っています。

親子で楽しめる遊具になるといいです。

(参加者：F)

1～3案、やはりどれをとっても素晴らしいなと思います。

あと年齢的なことで言うと、第1案はどちらかというと10～12歳くらい、第2案の方は、小学校低学年くらい、第3案は幼稚園くらいが対象かなと思っております。

ですから、どれか1つにというと、ちょっと決まらない。先ほど遊具の大きさが出ておりましたが(資料2-10ページ)、現在の風の子館から縮小されるだという、1つ1億かかるので、3つ全部いきたいですね。

あそこはしょっちゅう通るんですけども、見ていたら、幼稚園・保育園関係の子ども達が遊んでいる。先生を中心としてあまり大きく広がって遊んではない。

小学校低学年くらいになると、広く走り回っている。ですから例えば現在の風の子館ですか、端から端まで走り回っている。走り回るということは、この縮小のサイズではできないという気がしますが、自分としては、小さい子のためにあってもいいと思っていますけどもね。

先ほど話のあった、自由広場の方まで小さい子に行けと行っても無理かもしれないし、幌加内線を横断できない、手押し信号でもつけば話は別ですが、ということを考えながら話を聞いておりました。

(参加者：H)

すてきな御提案をありがとうございました。個人的には第1案がいいです。

やはり、他にはないというところできくと、1案がとても春光台公園のコンセプトにも合っているのかという印象がありました。

幼児広場の方ですが、ここが今後どうなる予定になるのかというのが1点気になるところです。

自由広場と管理棟すぐ側辺りですね。個人的にはそこが、0～3歳児ですとか、よちよちするお子様だったり、幼児広場が充実したり、そちら側に水場があったりすると非常に使い勝手はいいのかなと思います。

あとは、日陰という点では、幼児広場の方に日よけがあったりすると、そこで砂遊びができるとか、そういうところがあると、子連れのお母さんは安心して遊べるかなという気がします。

あとは、この風の子館の方も遊具の設置場所(資料2-10ページ)もここで決まりなんでしょうか。

(回 答：事務局)

配置は案で、これから検討していくことになります。

(参 加 者：H)

ありがとうございます。

(回 答：事務局)

平場から若干傾斜がついているんですけども、そこに若干かかるような感じで、そこが一番理想かなと、広い平場があるとよいと考えています。

(参 加 者：H)

是非残していただきたいと思います。キャッチボールですとか自由にされている方々もいるので、そのような広いところは、残しておいていただきたいのと、あとは今までの、縦に長くて規模が大きかったですけれども、配置によってはそこまで規模が小さくなったように見えないのではないかと思います。

ベンチが結構ありますけれども、非常にあればありがたいのですが、ベンチだったり、子どもが遊ぶだけではなくて、色んな方が憩いの場として使えるようなところも、更に設置していただけたらいいと思います。

(進 行：C)

みなさんありがとうございます。それぞれのお立場から、貴重な御意見が出たのではないかなと思います。

私も個人的に付け加えさせていただきますと、飛び抜けて第1案、インパクトもそうだけど、コンセプトの中に「体力や力に合わせた挑戦ができる」、能力的にできない部分があっても、できるところまでは遊ぶチャンスがあるというところがいいなあと、冒頭にここは決める場ではないと言いつつも、みなさん結構、1案に関心が高いようで面白いなと思いました。

ちなみに素材はFRPになるのでしょうか。

(回 答：事務局)

メインの素材はFRPになります。木材に見える箇所も木材では無い素材を使用し、木目調に仕上げます。

(参 加 者：F)

耐用年数はどれくらいになりますか。

(回 答：事務局)

木製はだいたい10年と言われていて、このようなFRPや合成樹脂材については、15年～20年が標準となっております。

(参 加 者：F)

20年。

(回 答：事務局)

15年～20年となっております。

(参 加 者：F)

耐熱性は。

(回 答：事務局)

例えば、滑り台の座面は昔のものであれば、熱くて使用できないということもありましたが、最近の滑り台の素材は、あまり熱くならない素材が開発されてきております。

今年のように異常な暑さが続いた場合は、別ですが、ある程度その辺は考慮した形で改良はされています。

(進行：C)

皆さんの御意見でありましたが、水場と日よけ、今回の施設とは別物になってしまうかも知れないですが、公園全体の整備の中で、やはりこのような場所があると、いいような気がするのですが。

まあ、予算も限られていますけれども。そのほか何かありますか。

(参加者：H)

前回もちょっとお伝えしたんですけれども、スケートボードができるようなエリアとか、そのあたりはいかがですか。

(回答：事務局)

前回もスケボー関係の意見はいただいておりますが、今回は遊具の改修ということで、そちらの方を考えておまして、スケボーとなるとまた年齢層や施設に対するニーズですとか、その辺の質が変わってきますので、今回についてはスケボーパークをこれと併せて検討する流れではないです。

(参加者：H)

了解しました。

(進行：C)

あとはよろしかったでしょうか。

それでは遊具の改修についての議題は、ここまでとさせていただきます。

予定されていた議題の意見交換は、以上となります。事務局に返してよろしいでしょうか。

## 次第6 その他

(進行：事務局)

今、遊具の改修の件について、様々な意見をいただきました。ありがとうございます。

中にはG様からもありましたけれども、人気投票形式で遊具を決定するというのもおもしろいのではないかというお話をいただきました。

人気投票も確かに盛り上がるのですが、やり方としては微妙なところもありまして、我々としては小学校、幼稚園などに人気投票ではないですけれども、「この遊具はこうところがいいよね」とか、「この遊具だったら、こういうところがいいよね」というような意見を集めて、総合的に色々な意見をいただきながら、判断して、みなさんにまた意見を伺いたいと考えておりますので、よろしくお願いします。

(参加者：C)

幼児広場については、どうでしょうか。

(回答：事務局)

幼児広場については、現状の遊具がそれほど痛んでいない、補修等が終わって、現状では使える状態なので、将来的には改修も考える必要がありますが、現状では、更新して新しい遊具を入れるとか、今回の協議会では、そこまでのものには至らないかと考えております。

(回答：事務局)

先ほどの説明でもありましたけれども、この後、小学校や幼稚園など、子ども達から意見をいただくという流れになっておりますので、次回また報告させていただきます。

(参加者：D)

ちょっとよろしいですか。

今の遊具の話に入るかどうか分からないんですけども、先ほど、Fさんからありました、自由広場に行くアクセス、横断歩道、陸橋、何も無いんですよね。春光台公園と道道を渡るところ、そういうことの計画というか、子どもとか、利用者が安全に公園側に渡れるという考えは持っていますかということと、例えば、西と東のところに、小動物でも渡すぐらいいいんですけども、冬場のこともありますから微妙なところはありますけれども、そういう施設を作るとか、安全性を考えるとありますか。

(回答：事務局)

今、お話しがありました横断歩道の関係、あるいは陸橋とかそういう意味だとは思いますが、道道を渡るという意味では、現状我々の方で、横断歩道をつけるとか、陸橋を架ける

とか、今の段階で考えているところはないです。

あと、小動物の渡る道というか施設についても、今のところは、考えてはいないです。

(参加者：C)

確かに自由広場のところは分断されていますよね。あそこに行きたい方、キャンプ場のところの駐車場に車を止めても、なかなか渡れないですよね。

かといって、養護学校のところに止めるわけにもいきませんし、そのアクセスが良くなると、ずいぶん使い易くなるのかと。

(参加者：D)

あの、公園側は少し高いんですよ。それを利用すれば、スロープというか歩道橋みたいなものも造れそうな気がするんですね。立体交差というか、人と車を分離した橋みたいなものができるんじゃないかと思うんですけども。

まあ、そちらなのか、道路管理者で検討するのか、分かりませんが、町内会としては、Fさんのところも、我々の町内会も長年言い続けているけど、実現していないですね。

何十年と要望は出しているけれども。

(回答：事務局)

道道の横断歩道については、町内会からも、過去に要望書はいただいていると私も記憶しています。

我々も要望をいただいて、警察とも話をする機会があったのですが、なかなかいいお返事はいただけていない状況です。

坂を上がったところにもなりますので、横断歩道を付けるにしても、見通しが悪いため、上りにしても、下りにしても見えづらいという視界の関係もあります。

(参加者：D)

多少でも、坂を削るとかすると、大分見通しは違うと思いますが。

(回答：事務局)

どうしても見通しが悪いのと、車のことを考えると、横断歩道をつける場所というか、信号機を付ける場所というか、警察と何度か話をしたのですが、なかなか、いい結論が出てこないところが現状になります。

構造物を造るというのもあるんですが、土地の問題ですとか、そういった諸々の事情を含めると、難しい部分があります。やはり、押しボタン式の信号ができれば、一番いいんですけども、どうしても地形が課題になります。

以前、土木の道路を担当したときも障害者団体の方等から要望を受けておりますし、なかなか上手く話がまとまらないというのがありますが、公園管理の立場からこのようなことを要望していくことはできますが、今の段階でそれがすぐに結論に結びつくかは難しい状況だと思います。

(参加者：C)

今回、決して安くはない費用をかけて自由広場を整備するわけですからね、是非、アクセスしやすくなってほしいです。

(参加者：D)

上に構造物を掛けられない場合は、地下道みたいなものがないんでしょうかね。

(回答：事務局)

どうしても信号機を付けると、その場所にロードヒーティングが必要になります。冬場は車が停車できないものですから。

(参加者：D)

冬場は信号は無理に付けなくてよいと思う。点滅式信号にするなど、冬場はほとんど利用者が公園に行くことはないですから、積雪期でないときに信号は必要だと思うんですよね。

(回答：事務局)

信号の管理については、いずれにしても警察の管轄になるため、我々としても、付ける付けないの判断はできないのと、皆さんと一緒に要望し続けるという形になります。

(参加者：H)

信号のことは置いておいて、自由広場の駐車場についてはどうなのでしょう。

駐車場が現状、療育センター関係者以外は駐車できないというような看板があって、そのために駐車してはいけないのではないのかという雰囲気があるんですが、これまでの話でも管理棟の横の駐車場に止めてから移動することが前提になっていて、ただ自由広場の隣に



何台かでも自由広場を利用するための方の駐車場があると分かれば、むしろ自由広場を利用する方は、車椅子の方とか、移動にハードルのある方が多いので、車が横付けできる駐車場があればいいかなと思います。

(回答：事務局)

自由広場に隣接する駐車場は養護学校の駐車場になりますので、現状では公園の駐車場に駐車してから移動する形になりますが、一部駐車場をお借りすることができないか相談してみる価値はあると考えております。

#### 次第7 閉会

(進行：事務局)

次回の協議会の開催予定についてです。

次第5議題(1)にありました、遊具の改修について、今日いただいた意見も参考としながら、11月のアンケートの結果も含め遊具案を決定し、年内に開催予定の第3回協議会で報告したいと考えております。

本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございました。これをもちまして、第2回春光台公園運営協議会を終了します。参加者の皆様、次回も引き続きよろしくお願い致します。

以上

会場風景

